

自動車乗り入れ承認工事基準

平成 2 2 年 4 月 1 日

岡崎市土木建設部道路維持課

自動車乗入口設置工事は、申請者側が工事費用等を負担する「承認工事」により申請者側にて施工していただき、完了手続後、市が管理を引き継ぎます。

歩道に自動車乗入口を設けるには、歩行者の安全の確保及び車両の出入りによる歩道の損傷防止のため、いろいろな制約がありますので、以下を参考に自動車乗入口の設置を行ってください。

1 許可基準

(1) 原則として乗り入れ口の設置を禁止する箇所

- a 横断歩道の中及び前後 5 m 以内の部分。
- b トンネルの前後各 50 m 以内の部分。
- c バス停留所の中、但し停留所を表示する標柱または表示板のみの場合は、その位置から各 10 m 以内の部分。
- d 地下道の出入り口及び横断歩道橋の昇降口から 5 m 以内の部分。
- e 交差点(総幅員 7 m 以上の道路の交差する交差点をいう。)の中及び交差点の側端または道路の曲がり角から 5 m 以内の部分、但し T 字型交差点のつきあたりの部分を除く。
- f バス停車帯の部分。
- g 橋の部分。
- h 横断防止柵、ガードレール及び車止めなどが設置されている部分、但し交通安全上特に支障がないと認められる区間を除く。
- i 交通信号機、道路照明灯の移転を必要とする箇所、但し道路管理者及び占有者が移転を認め、申請者が移設をする場合は除く。

ただし、自動車乗入口の設置が、真にやむを得ず所轄警察署長との間で、その設置について協議が整った場合は、例外とする。

(2) 設置箇所数

乗入箇所は、原則として出入対象施設について 1 箇所とし、出入口を分離する必要がある施設等特別の事情がある場合及び特に大型貨物自動車の出入する場合は、2 箇所まで承認することができる。(乗入の箇所の離隔は 10 m 以上とする。)

ただし、ガソリンスタンド、駐車場、コンビニエンスストア、店舗等で、自動車の乗入が多い箇所又はその他やむを得ないと認める場合は、この限りでない。

(3) 民地側に車庫、その他自動車の保管する場所がある箇所であること。

なお、進入時に、道路上(歩道を含む)で立ち往生するような狭い駐車スペースの計画は認めない。

(4) 交差道路と隣接する場合は、交差道路との間に原則として 2 m の間隔をとるものとする。

(5) 官民境界沿いに側溝がある場合には、道路管理者の指定する側溝を設置

すること

(6) 乗入口以外の場所から自動車が出入するおそれのある場合は、車止めを設置する等の措置をとること。

*) 自動車の出入口とするため歩道改築の承認申請が民家等にその家屋所有者の自家用車が出入するもので、自動車の出入りの回数が少ない場合等であり、交通安全上特に支障のないと認められる場合は、(1)の b から d、f は適用しないことができるものとする。

(7) 乗入口の設置幅

乗入口の設置幅及び側溝影響幅は、下表を原則とする。

自動車の種類		歩道の形式	フラット式 セミフラット式	マウントアップ式 (ブロック巻き込み)	摘要
乗入口の設置幅	A型 乗用車・小型貨物自動車		3.0m	4.0m	自動車の分類は道路設計要領に準ずる
	B型 普通貨物自動車用6.5t積以下		6.0m	7.0m	
	C型 大型・中型貨物自動車用6.5tを超えるもの		必要幅 (10.8m以下)	必要幅 (12.0m以下)	
側溝影響幅	A型 乗用車・小型貨物自動車		1.5m	1.0m	
	B型 普通貨物自動車用6.5t積以下		2.0m	1.5m	
	C型 大型・中型貨物自動車用6.5tを超えるもの		2.6m	2.0m	

* C型については、最大乗入幅を示す。設置にあたっては、車両走行軌跡図により必要幅を算出することを基本とする。

(8) 乗入の設置角度

自動車乗入口は、車道中心線に対し直角に設置することを原則とする。

対象車両の最大緒元

車種	A型 (小型自動車)	B型 貨物自動車(6.5t積以下)	C型 貨物自動車用6.5t積を超えるもの・大型バス
車長	4.7m	8.7m	12.0m
車幅	1.7m	2.4m	2.5m
回転半径	6.0m	9.4m	12.0m

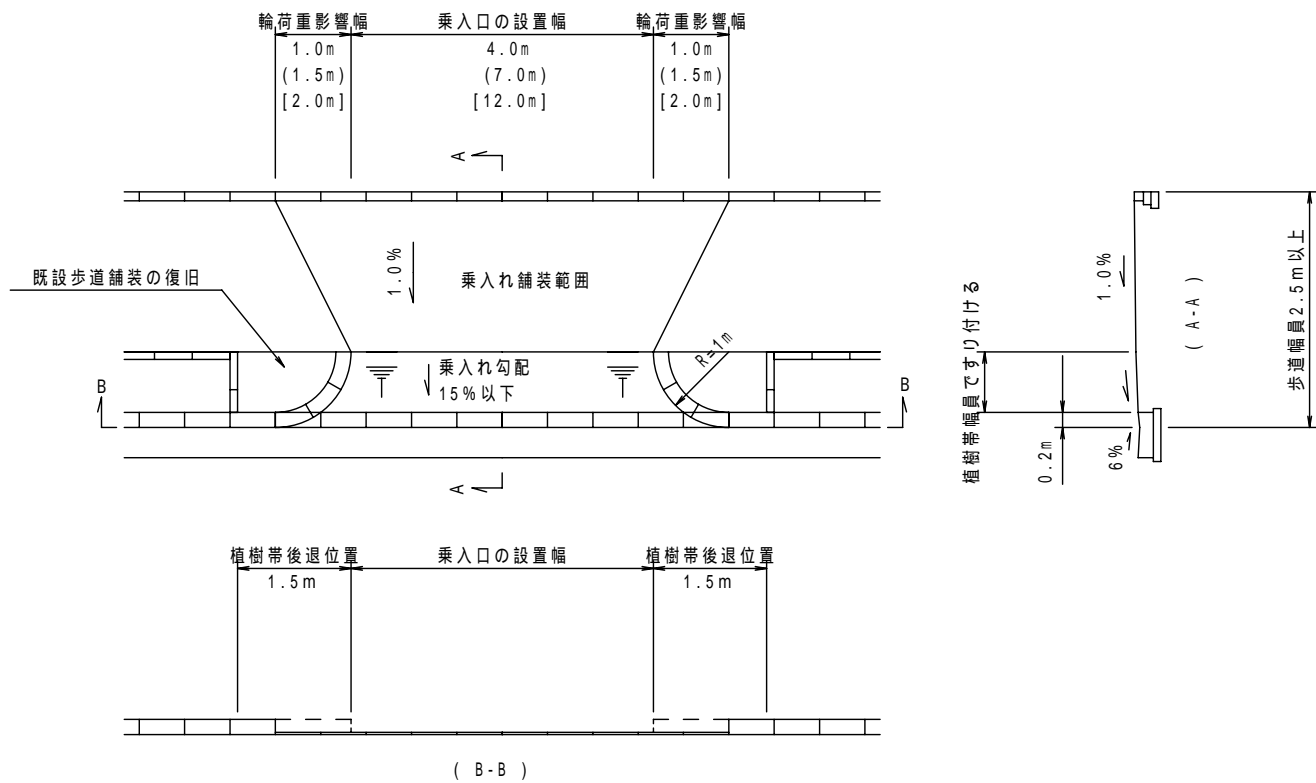
歩道の自動車乗入部形状図選定表

歩道幅員		2.5m以上						2.5m未満	
植樹帯の有無		有			無			無	
植樹帯の幅員		1.2m以上	1.2m未満						
街渠ブロックの高さ		/	20cm		15cm	20cm		15cm	/
歩道横断勾配の方向			民地上がり	民地下がり	/	民地上がり	民地下がり	/	
マウントアップ式 セミフラット式	地先境界ブロック (切り下げ可)	/	/	/	/	/	/	/	図-13
	地先境界ブロック (切り下げ不可)	図-1	図-3	/	図-6	図-8	/	図-11	図-14
		図-2	図-4	図-5	図-7	図-	図-10	図-12	図-15
フラット式		図-16				図-17			

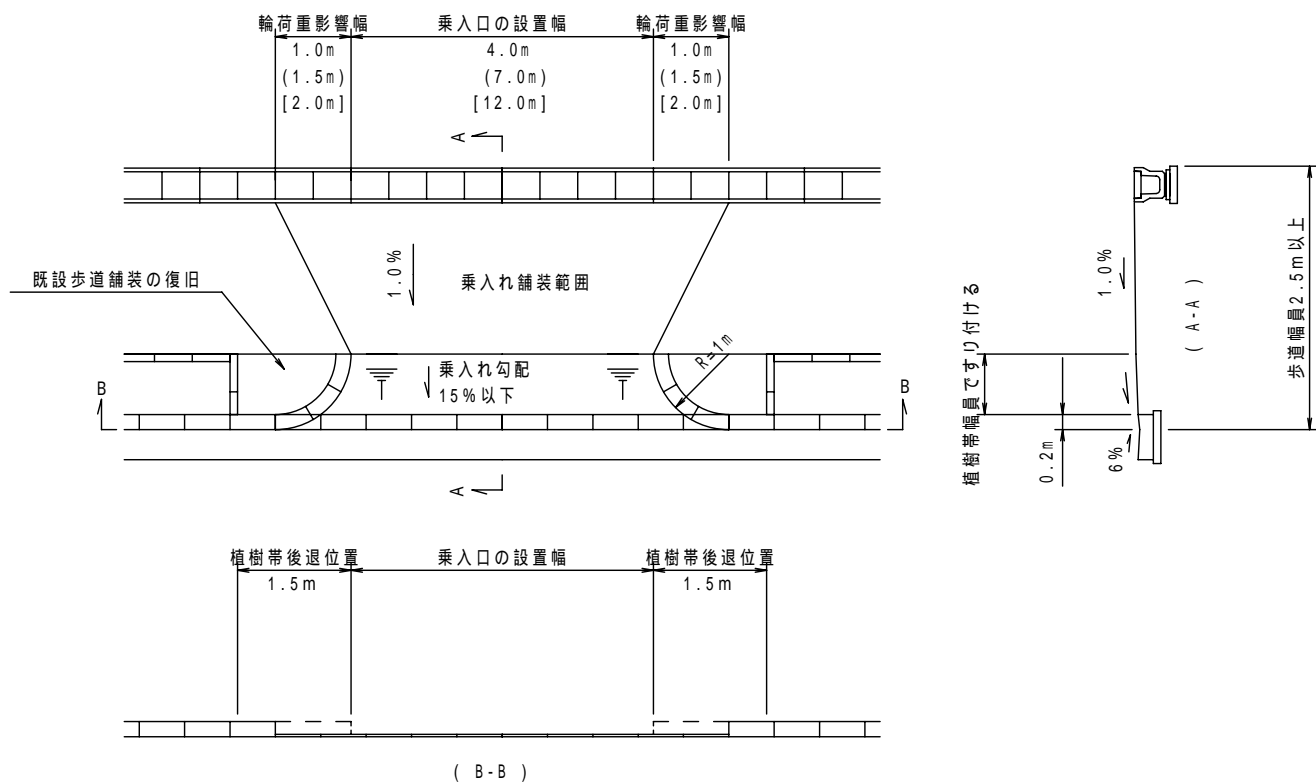
* 図-14は、民地切り下げが不可能な場合のみ適用する。

* C型の乗入口を設置する場合は、蓋のないもの・蓋の少ないもので、側溝にボルト固定されているものを使用するものとする。

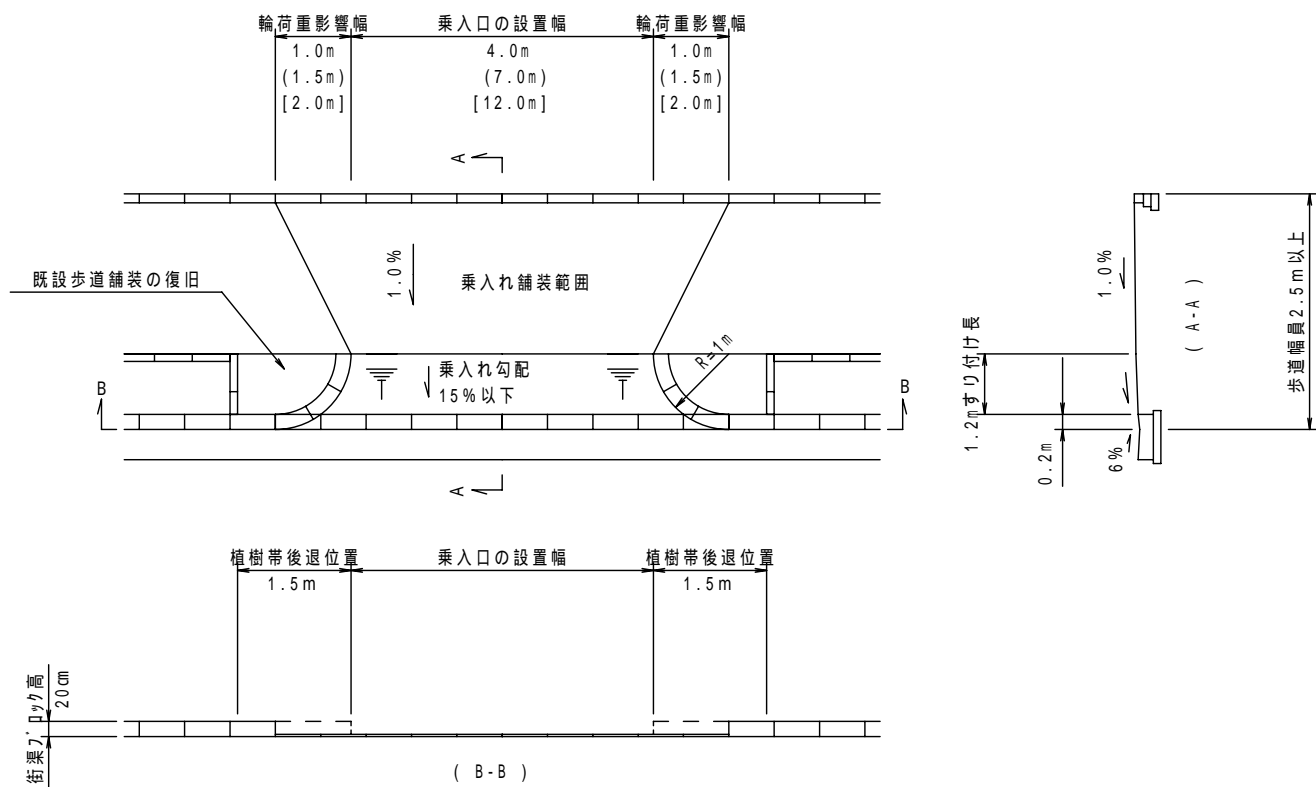
(図 - 1)



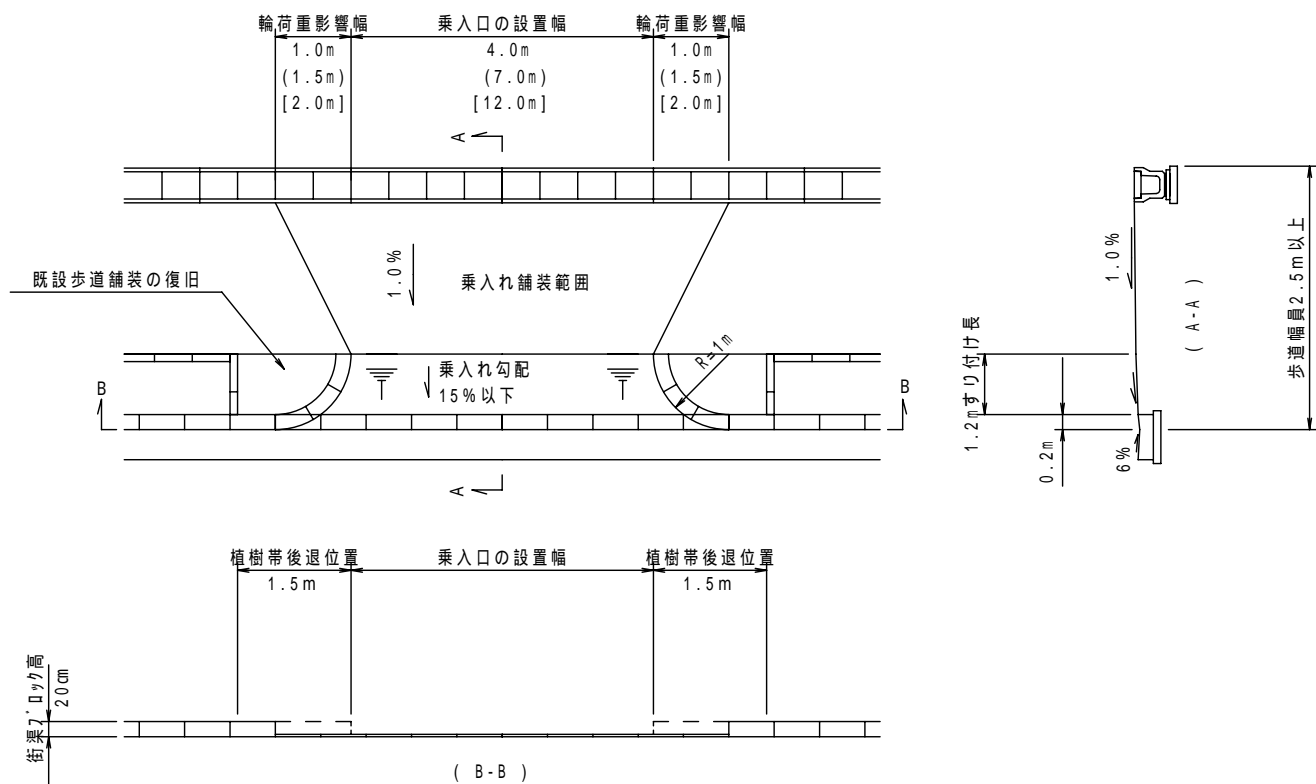
(図 - 2)



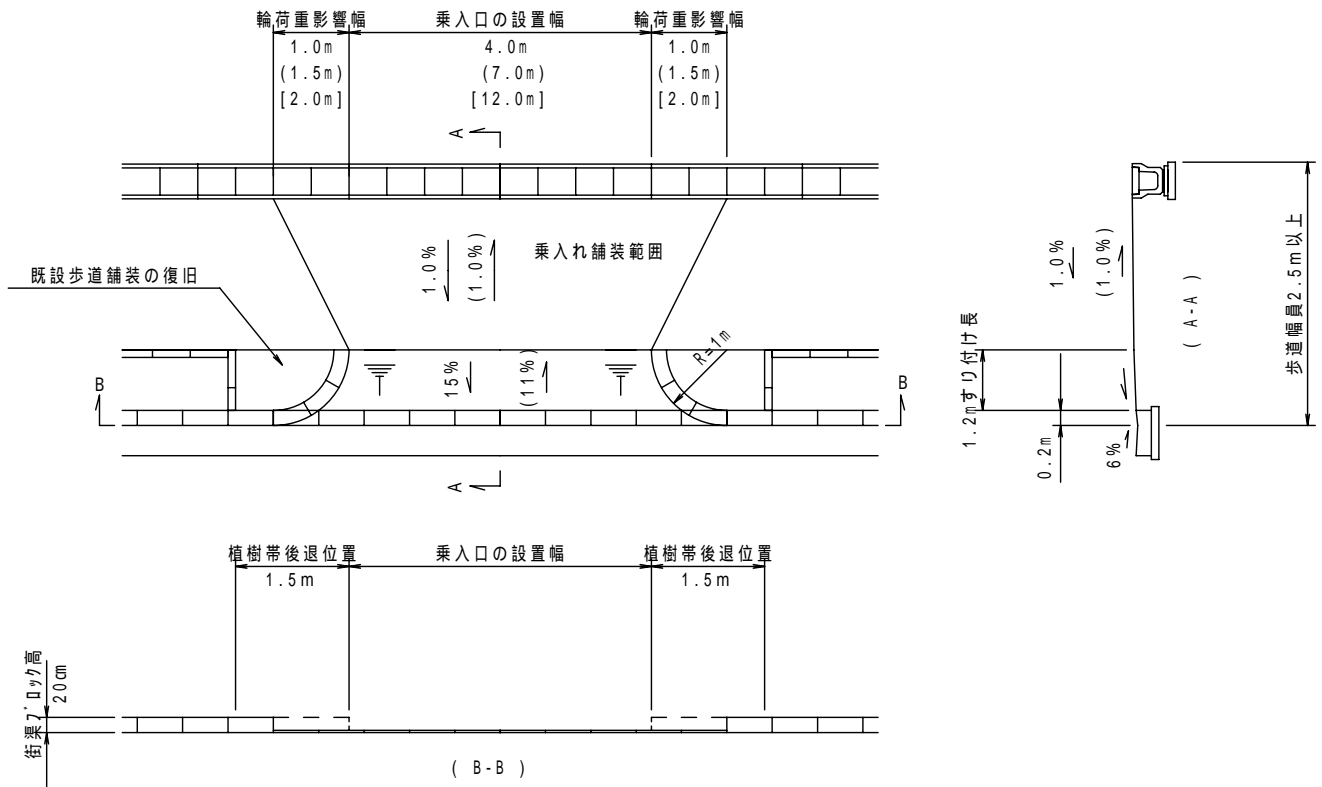
(図 - 3)



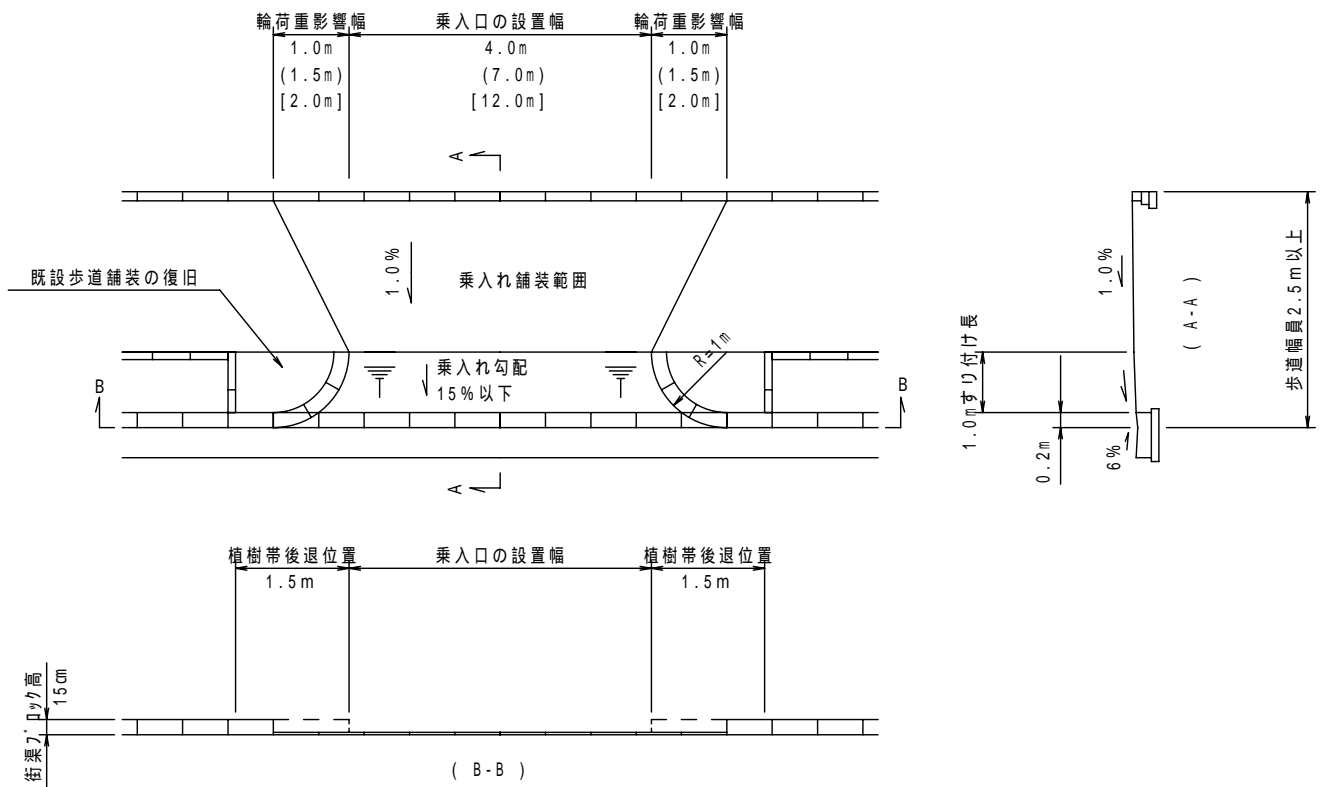
(図 - 4)



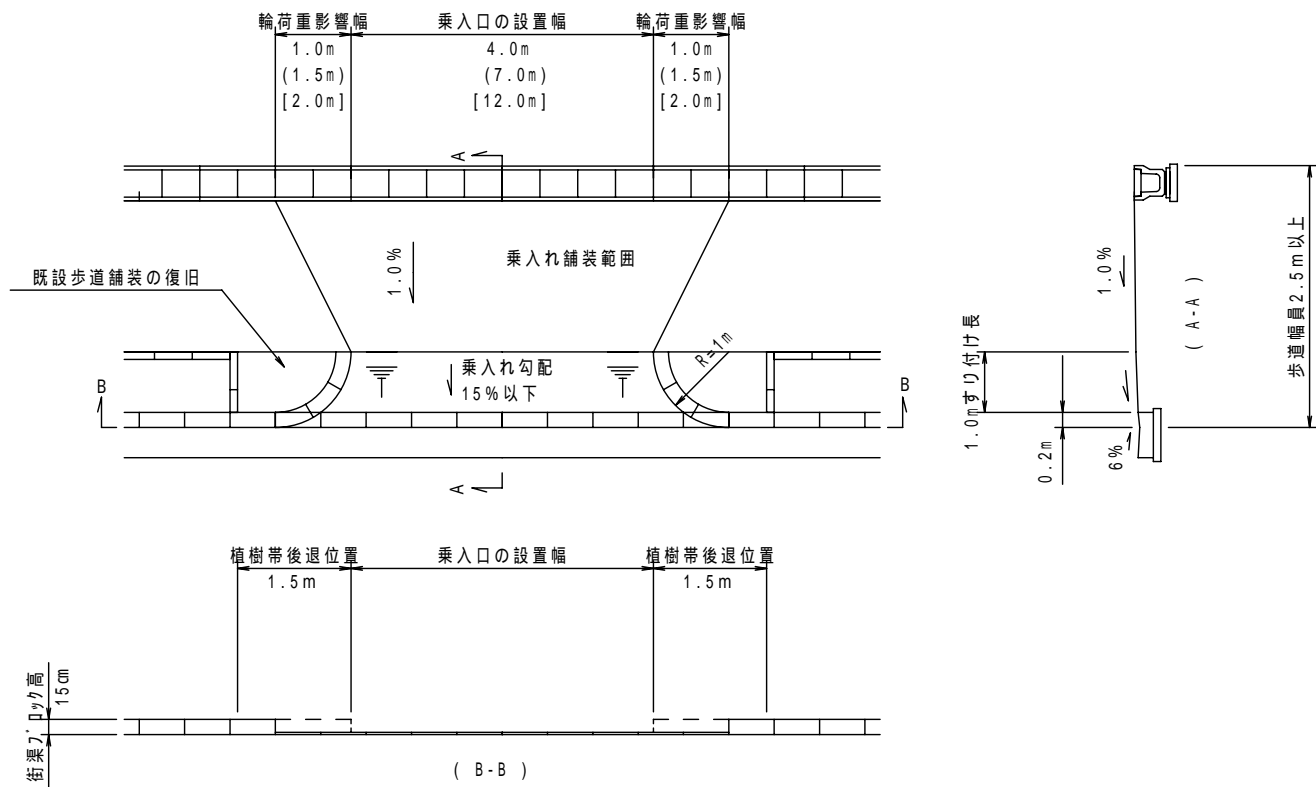
(図 - 5)



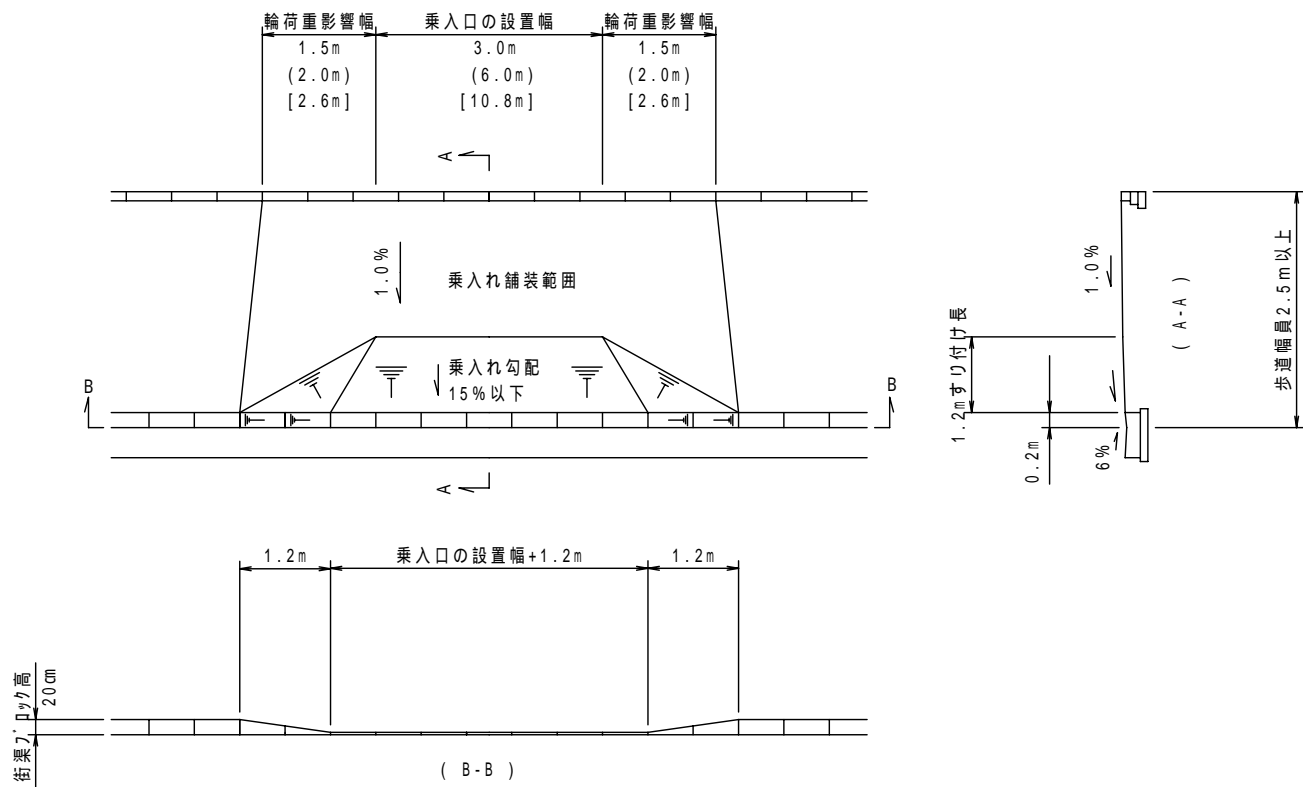
(図 - 6)



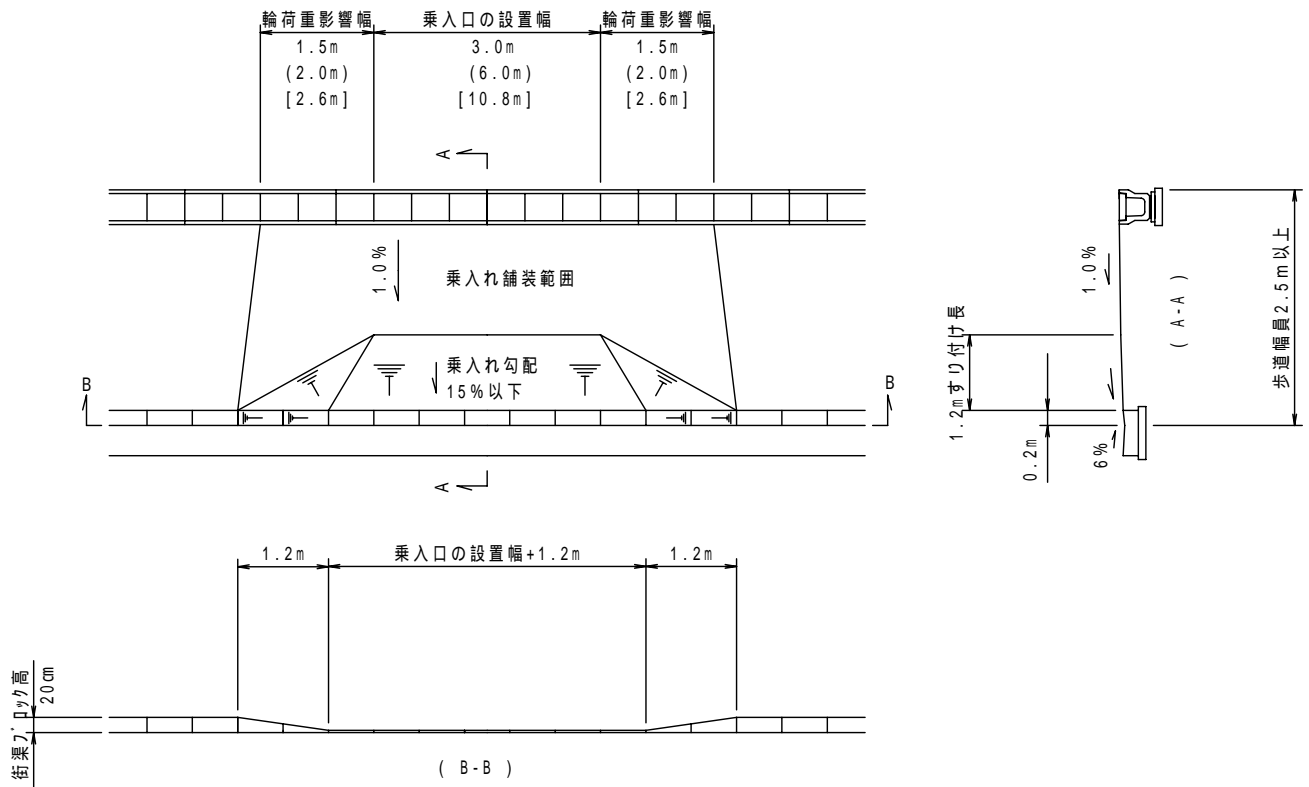
(図 - 7)



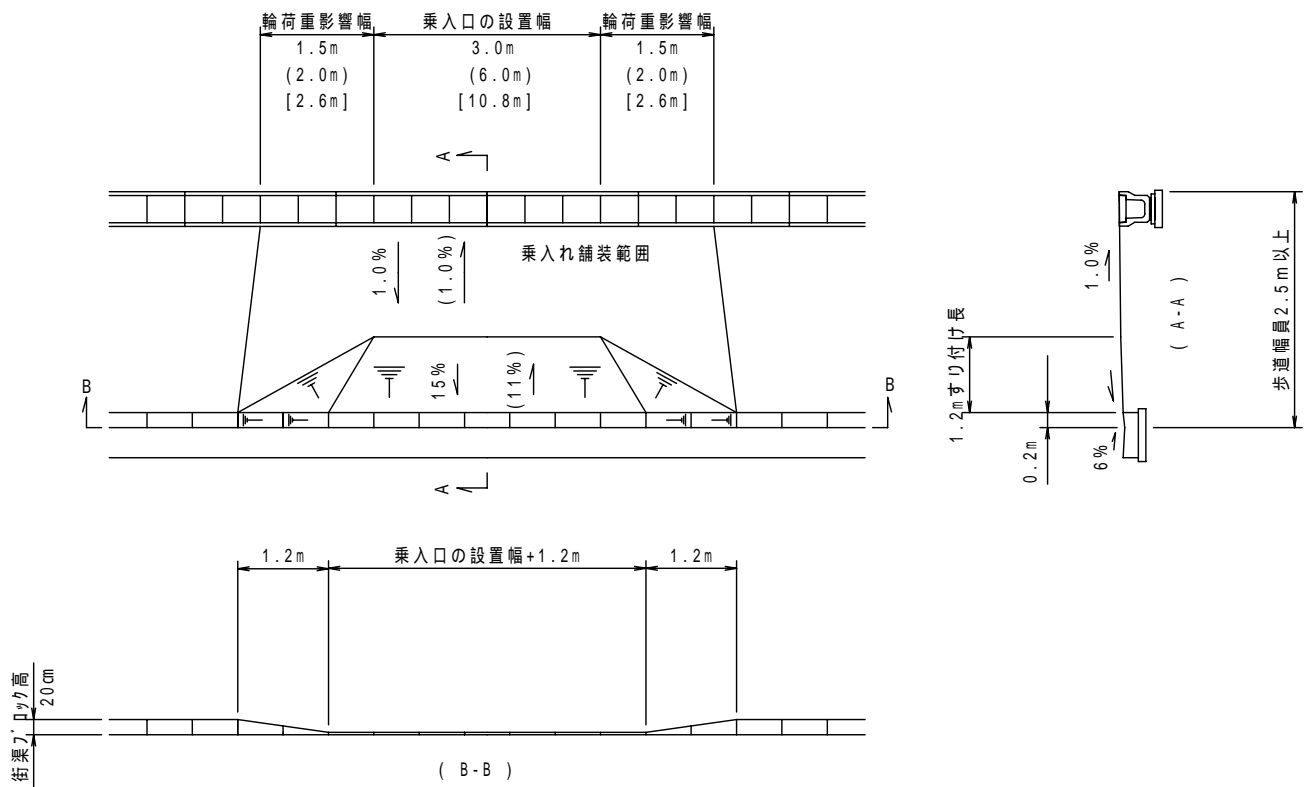
(図 - 8)



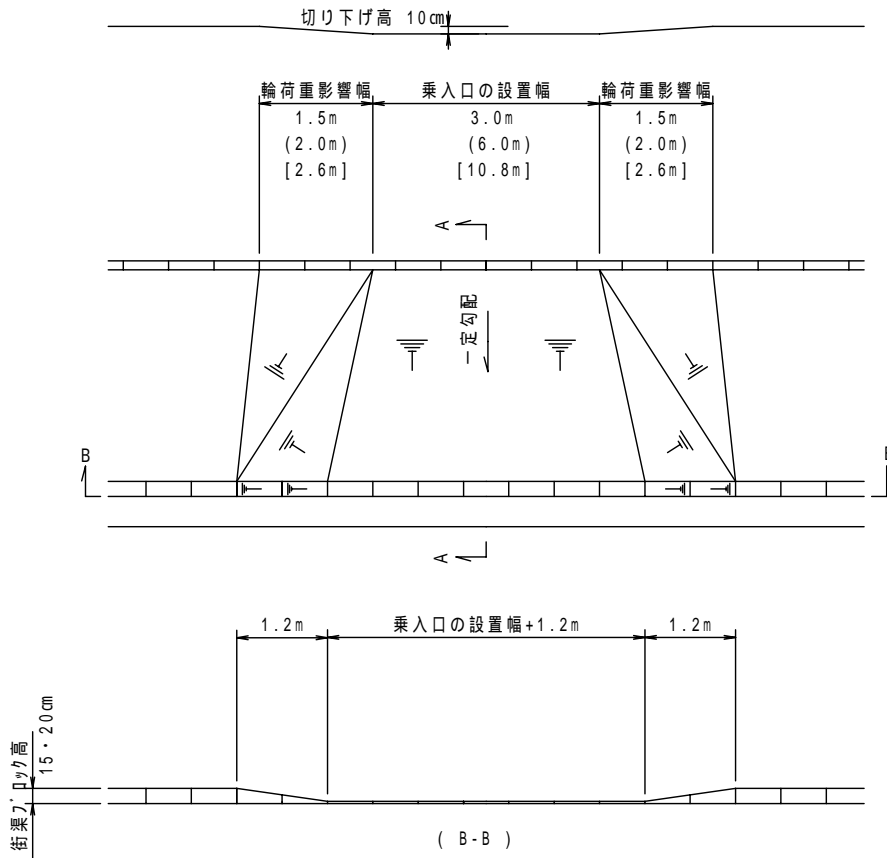
(図 - 9)



(図 - 10)



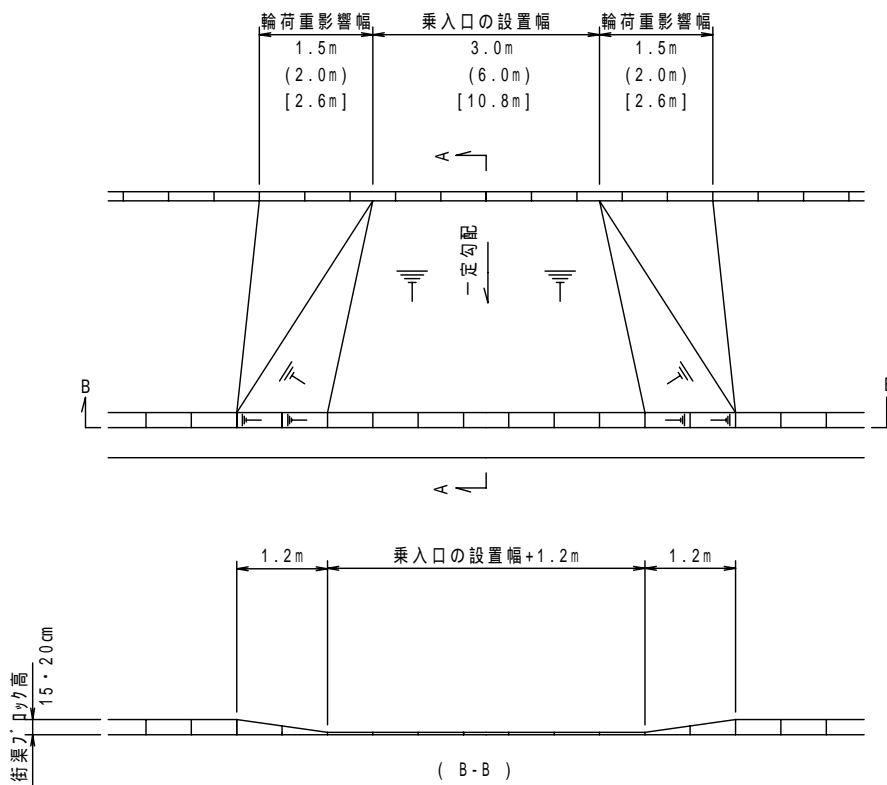
(図 - 13)



一定勾配の値

歩道幅員 \ 街渠ノ口の高	H=20cm	H=15cm
	w=2.0m	5%
w=1.5m	6%	2%

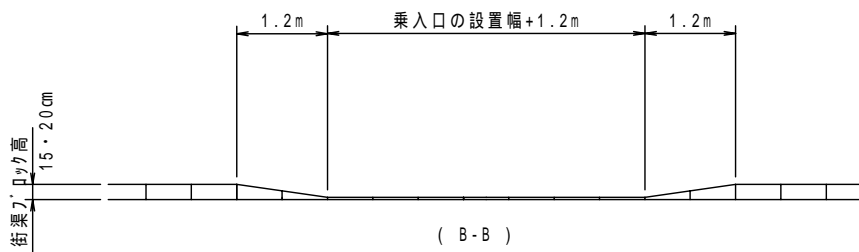
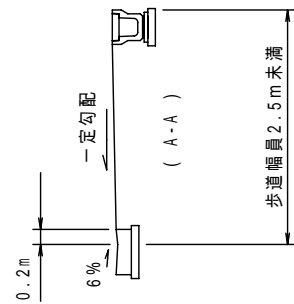
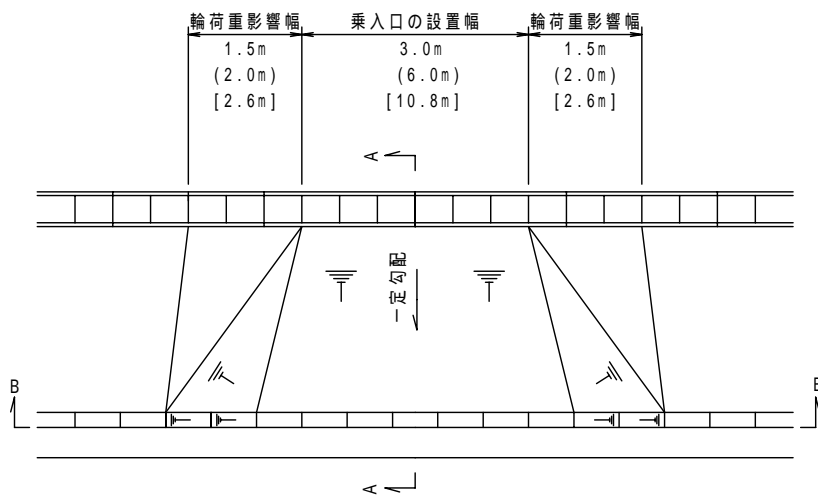
(図 - 14)



一定勾配の値

歩道幅員 \ 街渠ノ口の高	H=20cm	H=15cm
	w=2.0m	11%
w=1.5m	15%	10%

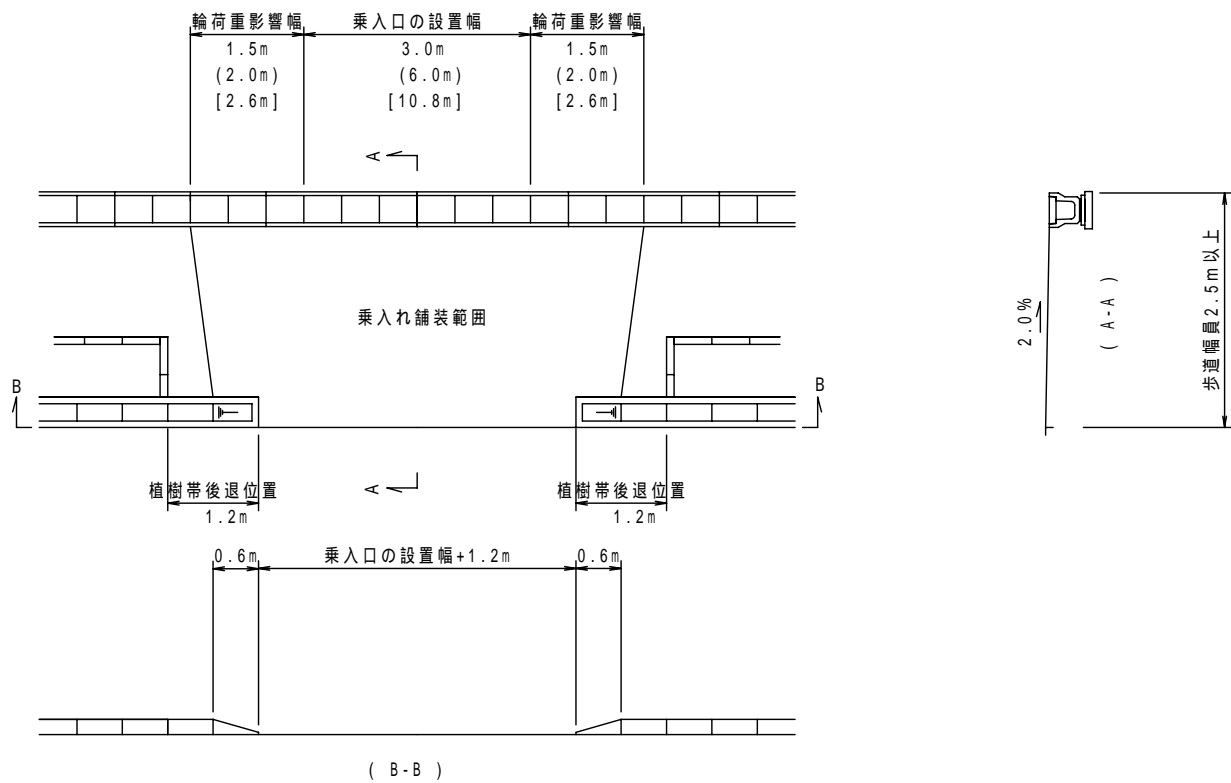
(図 - 15)



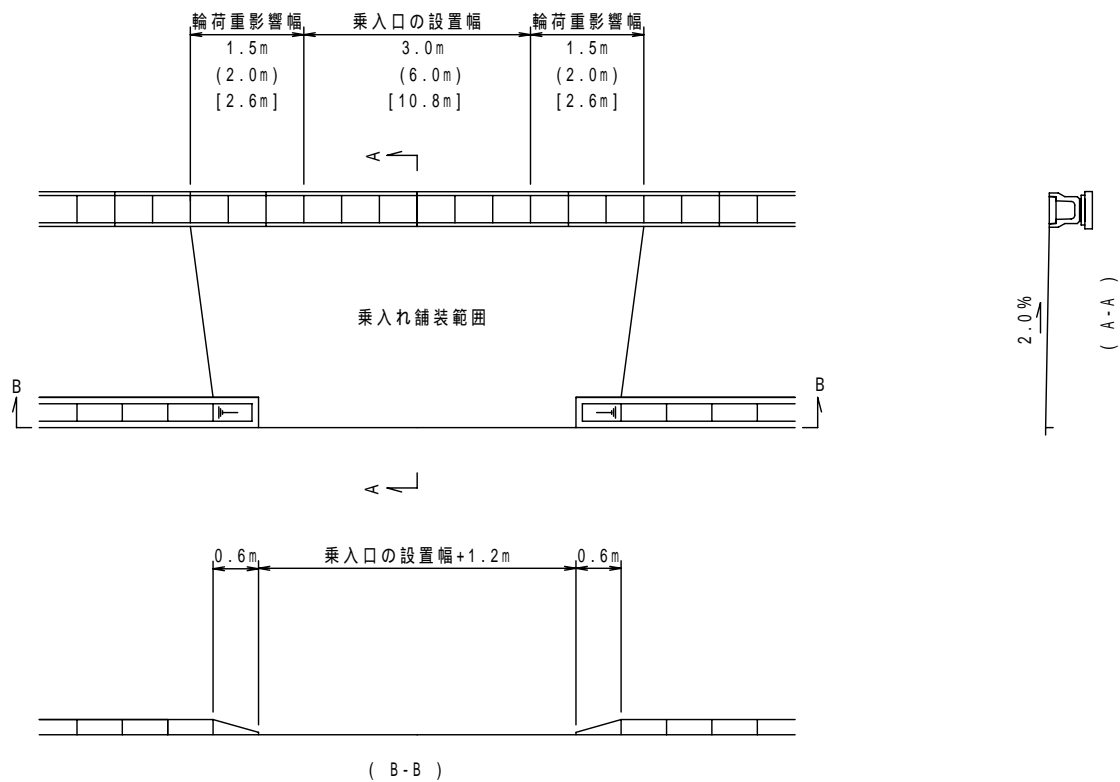
一定勾配の値

歩道幅員	街渠ノ口ツカ高	
	H=20cm	H=15cm
w=2.0m	11%	6%
w=1.5m		12%

(図 - 16)



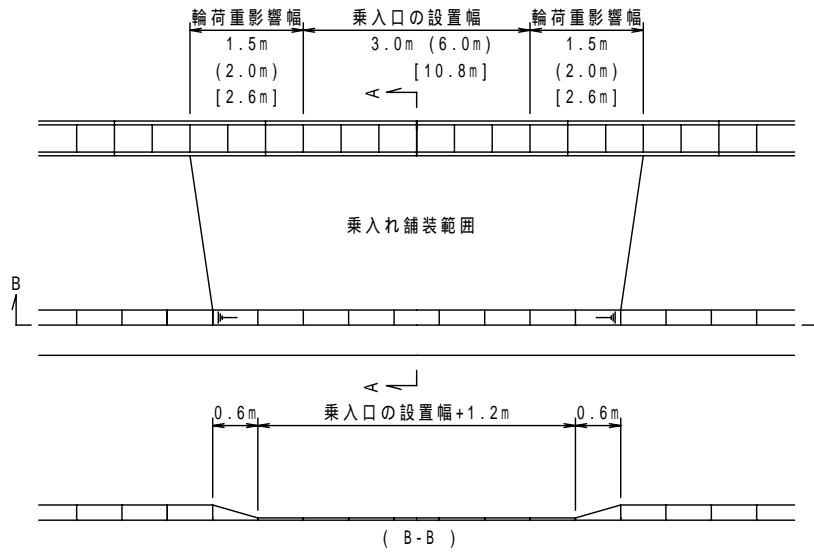
(図 - 17)



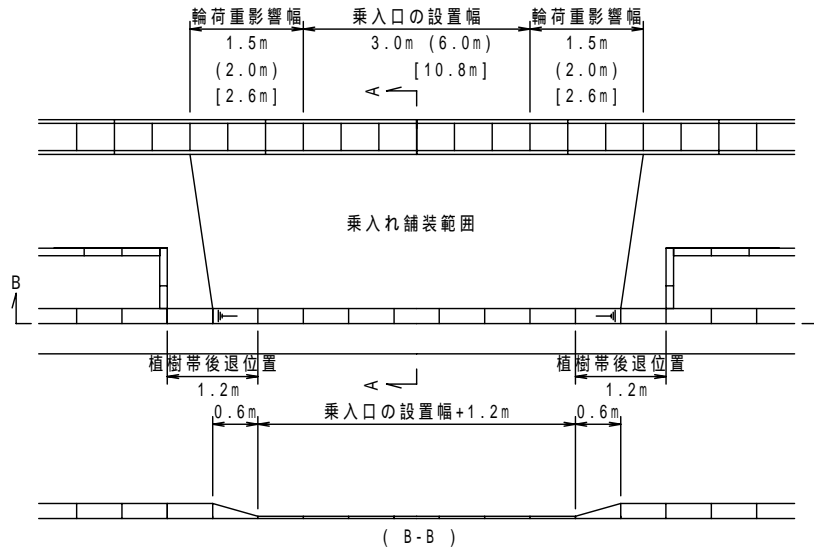
自動車乗入部の標準形状

a) セミフラット式

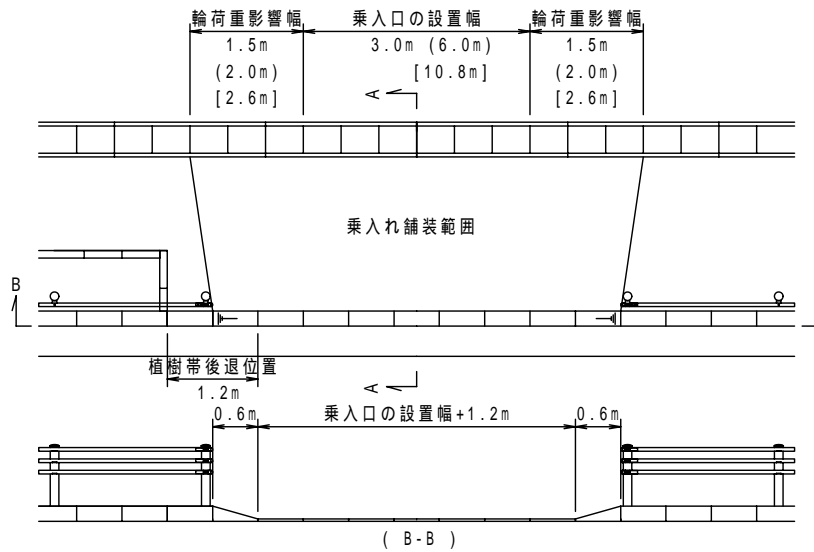
1) 一般部



2) 植樹帯設置部



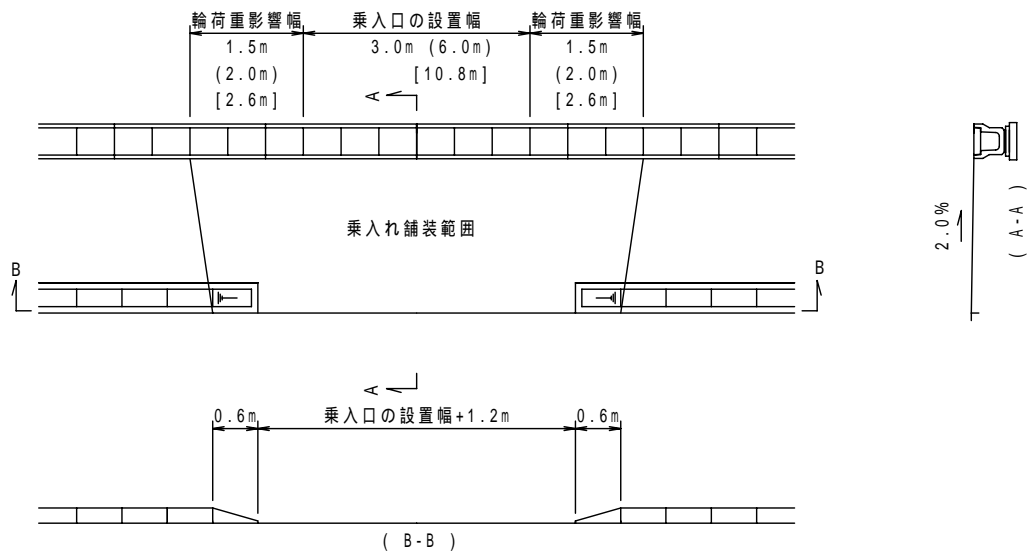
3) ガードパイプ設置部



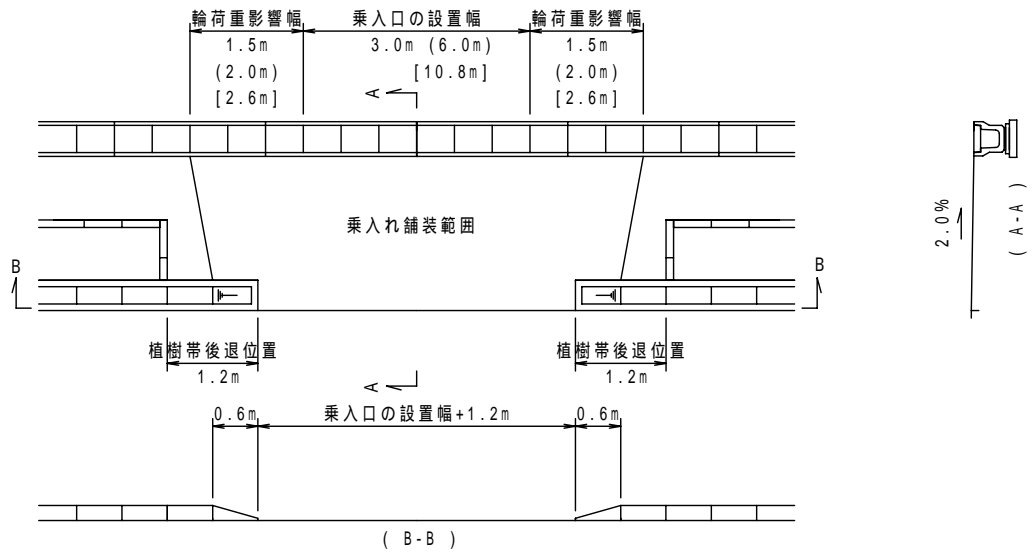
() 内は B 型、 [] 内は C 型を示す

b) フラット式

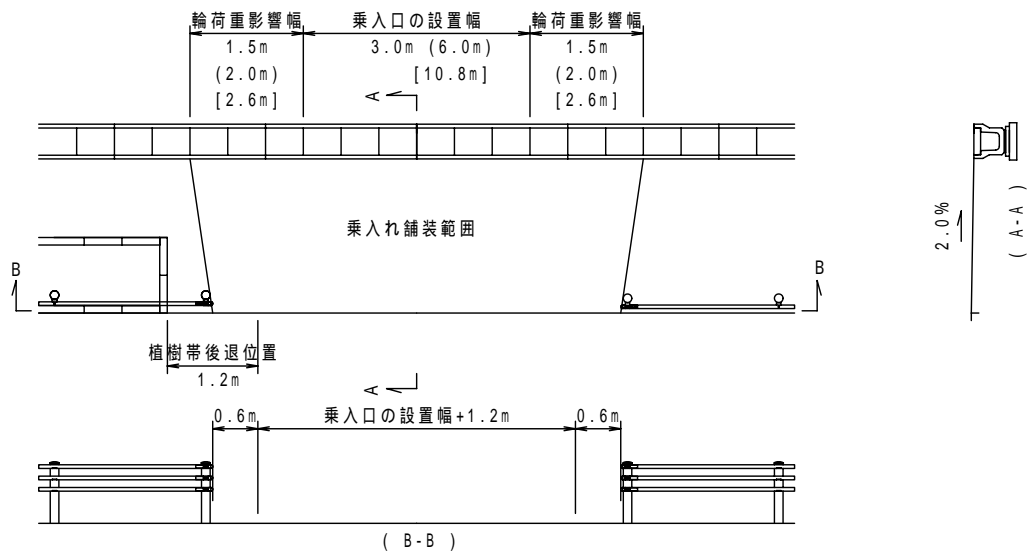
1) 一般部



2) 植樹帯設置部



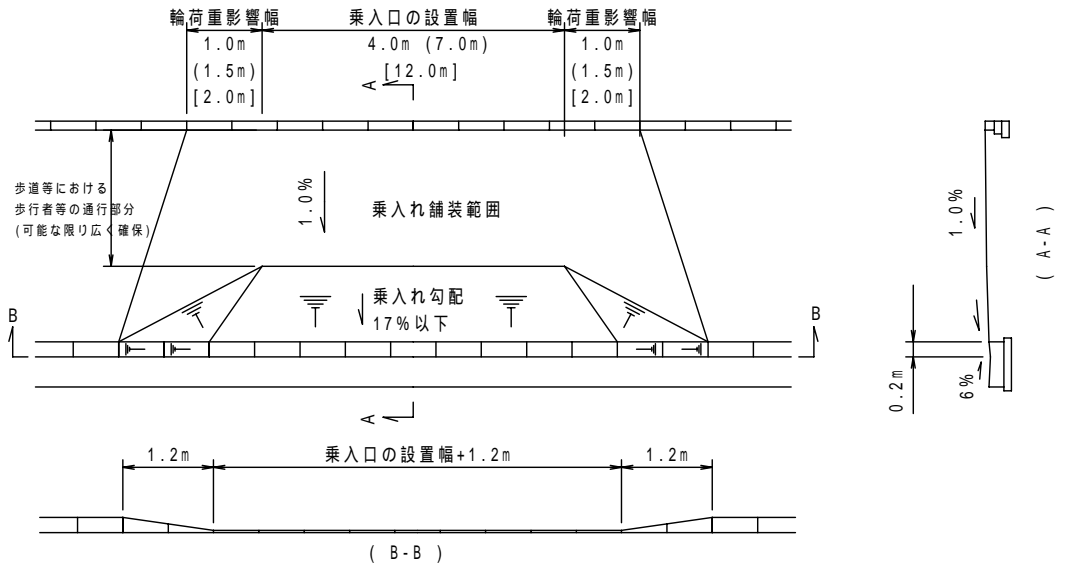
3) ガードパイプ設置部



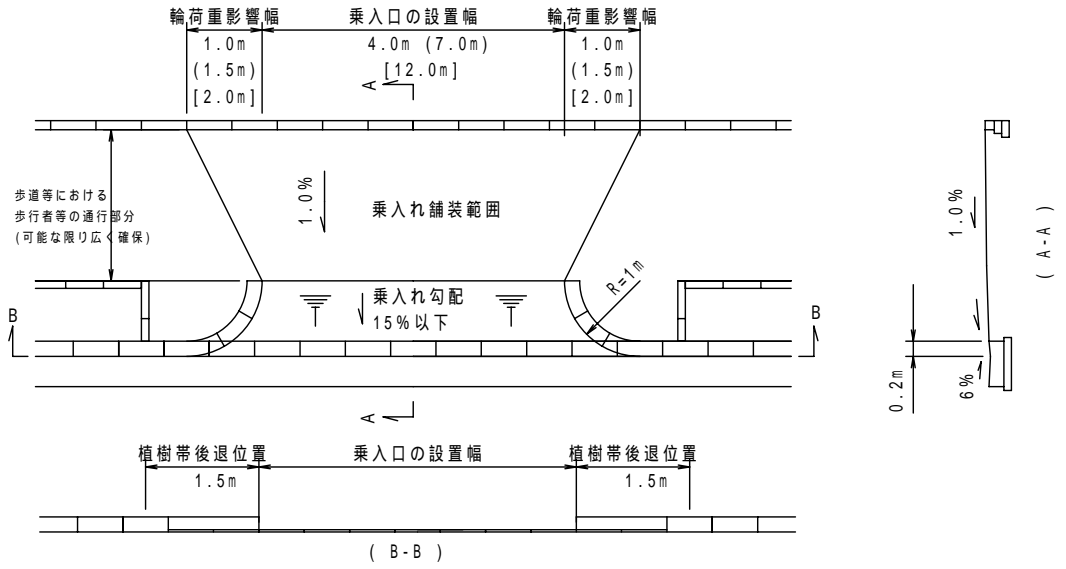
() 内は B 型、 [] 内は C 型を示す

c) マウントアップ式

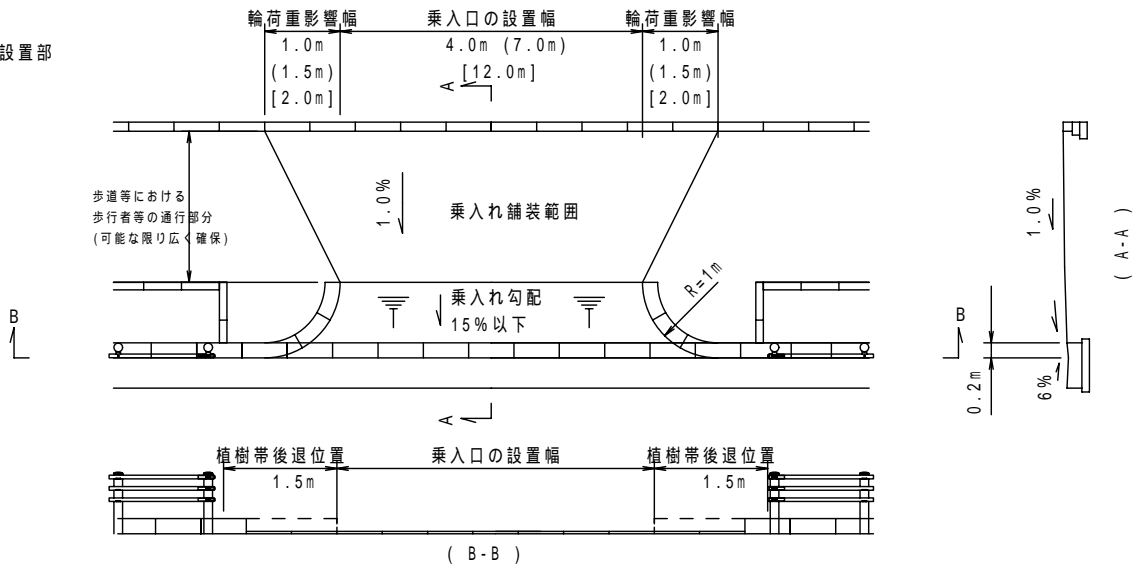
1) 一般部



2) 植樹帯設置部



3) ガードパイプ設置部



() 内は B 型、 [] 内は C 型を示す

1 舗装構成図

乗入規格表による車種により下表を適用する。

単位：c m

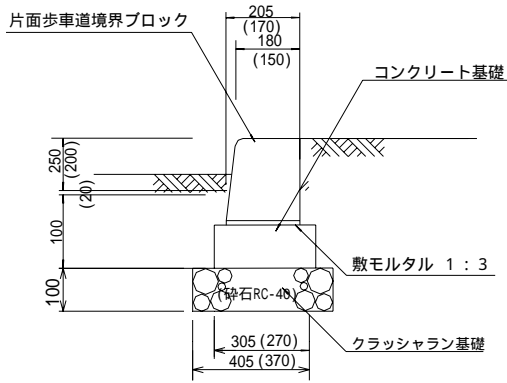
型式	車種	セメントコンクリート舗装		アスファルト舗装		
		コンクリート	路盤	密粒度	粗粒度	路盤
A 型	乗用、小型貨物自動車	15	10	5		25
B 型	普通貨物自動車等	20	20	5	5	25
C 型	大型及び中型貨物自動車等	25	25	5	10	30

(注)

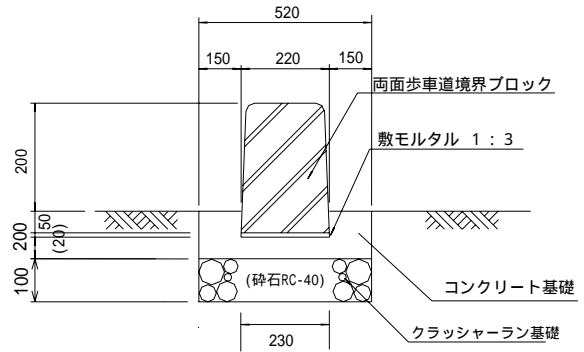
- (1) 乗入口部分の舗装は、耐久性確保のため、コンクリート舗装を原則としているが、施工時に適切な転圧重機(振動ローラ 1 t クラス以上)を使用し、完了時に転圧状況写真を提出する旨を別紙確約書等で説明されているものに限り、アスファルト舗装を認めるものとする。
- (2) 舗装厚は出入する車種の最大のものを適用する。
- (3) コンクリート舗装の場合コンクリート舗装要綱によるものとし生コンクリートの呼び強度(設計基準強度) $28 = 210 \text{ kg f / cm}^2$ 以上とする。
- (4) アスファルト舗装の場合はアスファルト舗装要綱によるものとする。
- (5) 路床土は良質土を用いるものとする。
- (6) 路盤材料は粒調碎石又は再生碎石 RC - 40 を標準とする。
- (7) 申請者の都合により乗入幅を縮小する場合においても舗装厚は、減じない物とする。
- (8) 上表は申請者自らが施工する場合であり道路管理者の工事と同調施工で道路管理者が施工する場合の舗装厚については別途考慮できるものとする。
- (9) 透水性アスコンは、既設歩道が透水性舗装の場合に A 型のみを使用するものとする。(舗装構成は路盤 35cm、フィルター層 5cm とする)
- (10) その他の構造は別途協議とする。

歩車道境界ブロック詳細図

(高台式歩用)

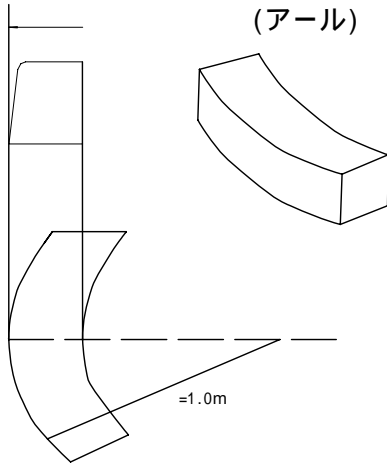


(平面式歩道用)

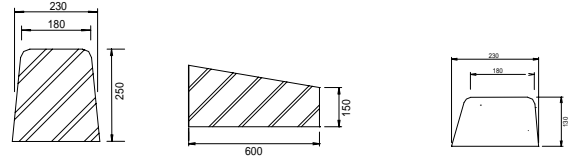


ブロック高(H=200)の場合は、()の数値を使用すること。

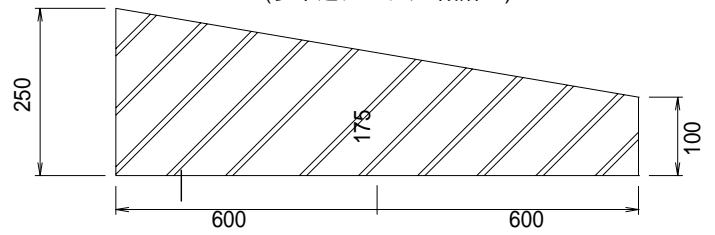
(アール)



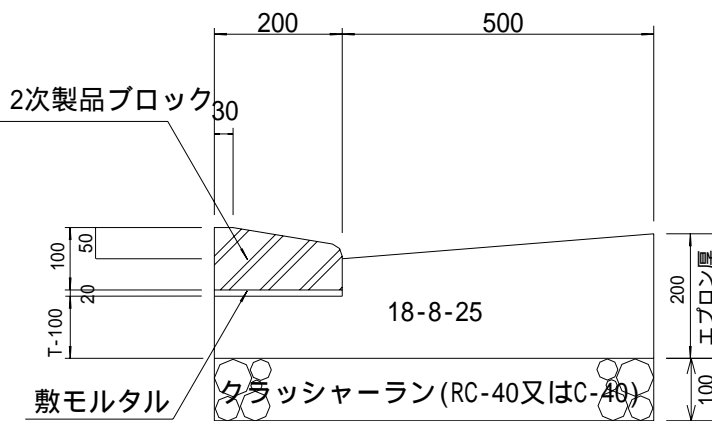
(開口部すりつけブロック)



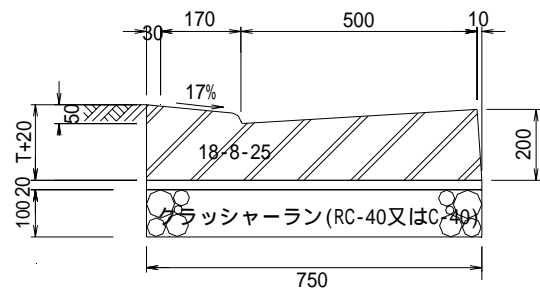
(歩車道ブロック2段落し)



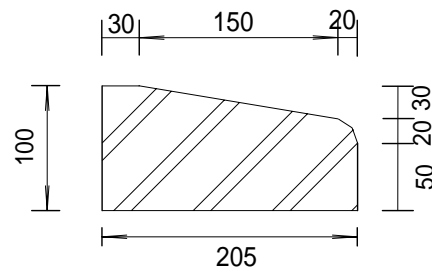
(2次製品ブロック取替タイプ)



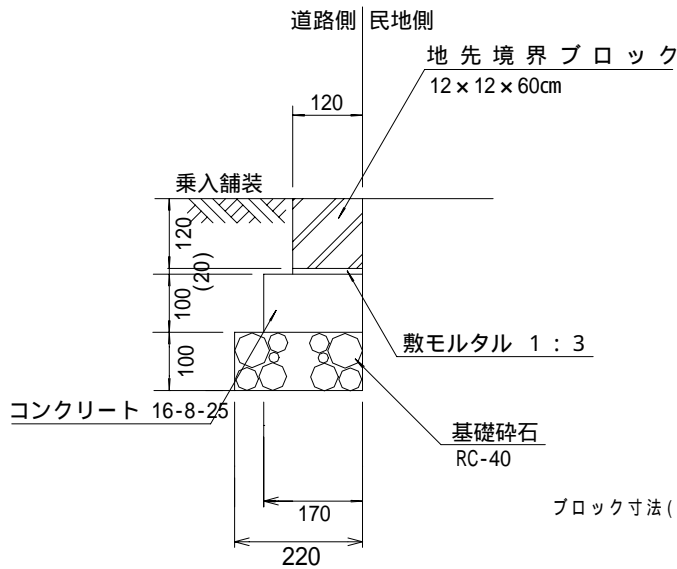
(全面打替タイプ)



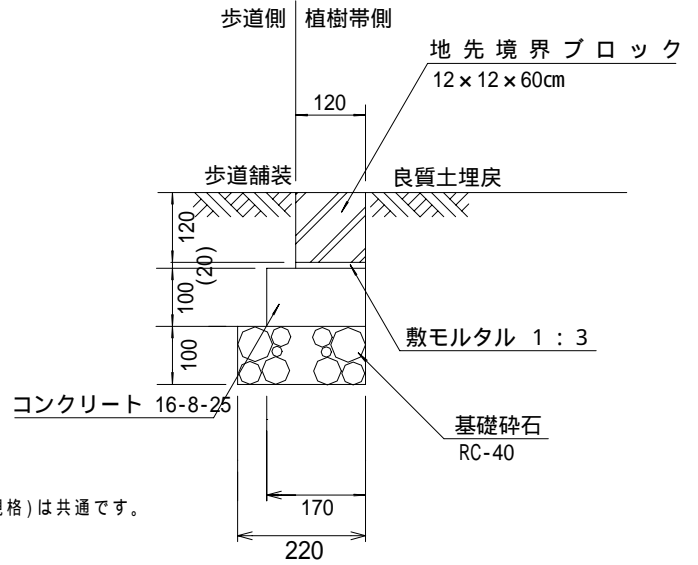
2次製品ブロック詳細図



地先境界ブロック詳細図



植樹帯ブロック詳細図



ブロック寸法(規格)は共通です。

地先境界ブロックについては、既設のものに損傷、沈下等がないことが確認でき、施工上の支障とならない場合に限り、撤去・復旧を省略することができる。

注：該当しない図表及び数値は×印または二重線(=)で消してください。

確 約 書

平成 年 月 日

岡崎市長

住所

氏名

印

下記工事により乗入部分の舗装方法をアスファルト舗装にて施工するため、施工時に適切な転圧重機（振動ローラ 1 t クラス以上）を使用し、完了時に転圧状況写真を提出します。

記

- 1 路線名 市道 線
- 2 場所 岡崎市 町字 番地先
- 3 工事名 自動車乗入口設置工事